

【目 次】

1. まちづくりと野川の整備 .....	1
(1) まちづくりと野川の整備 .....	1
(2) 市のまちづくりと野川に関する取り組み .....	1
2. 都市計画河川「野川」について .....	2
(1) 整備の目的・必要性 .....	2
(2) 「野川」の都市計画の概要 .....	2
(3) 整備イメージ(鞍尾根橋～不動橋) .....	2
(4) 河川事業の一般的な流れ .....	2
3. 野川の整備を契機とした市のまちづくり .....	3
(1) 市の基本計画の位置づけ .....	3
(2) 災害に強いまちなみの形成に向けたまちづくり .....	3
(3) 緑豊かな空間の形成に向けたまちづくり .....	4
(4) 良好な住環境の形成に向けたまちづくり .....	5
(5) 地域の魅力を守り・高めるまちづくり .....	5

# 1. まちづくりと野川の整備

## (1) まちづくりと野川の整備

### ① 市のまちづくりの状況

市域では国分寺駅北口の再開発事業の整備や国 3・4・11 号線の事業化に向けて周辺まちづくりの検討が進み、市内において新たなまちづくりの進展が見込まれる状況にあります。

### ② 市のまちづくりと野川の関わりについて

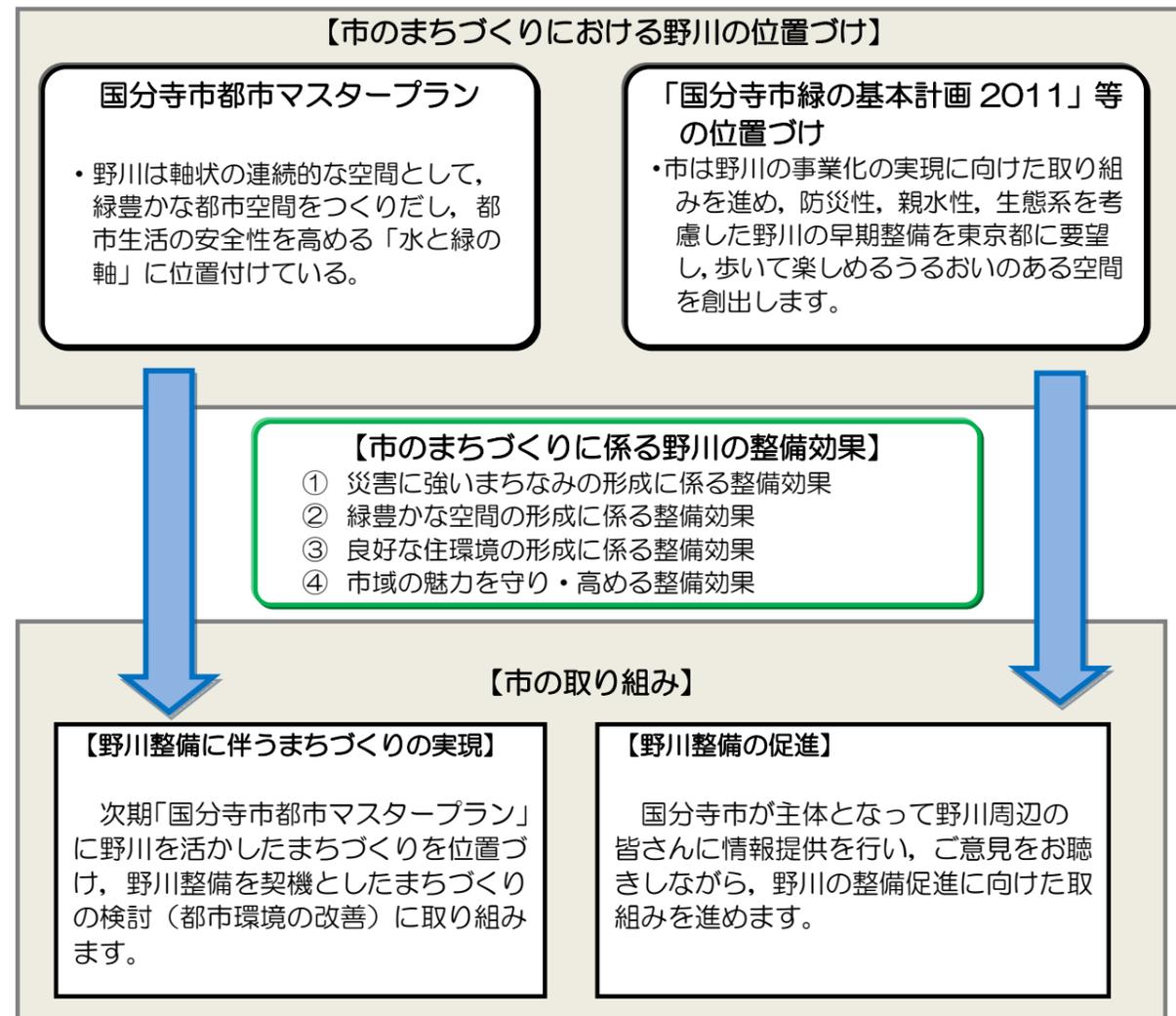
東京都が管理する野川は小金市境の鞍尾根橋まで整備が進んでいますが、国分寺市内の野川は未整備となっています。

市は野川を市のまちづくりの骨格となる都市軸として位置づけており、野川の整備と併せて防災面や住環境に関する都市環境の改善に向けたまちづくりの推進が必要となります。

### ③ 市の取組み

今年度、市は市内のまちづくりの進展を踏まえ、市のまちづくりと野川整備の促進に関する市民の皆さんのご意見を聞く機会として懇談会を設けました。

市は懇談会における市民の皆さんのご意見を聞きながら野川の整備促進の取組みを行っていくとともに、野川整備を契機とした都市環境の改善に向けてまちづくりの検討に取り組みます。



## (2) 市のまちづくりと野川に関する取組み

### ① 懇談会の開催について

市は野川整備促進の取組みの主旨や市のまちづくりの考え方と野川整備の概要について地域の皆さんのご理解を頂きたいと考え懇談会を設けました。

市は野川整備を契機とした都市環境の改善に向け、野川整備に伴う施設の整備や将来の管理のあり方などについて、地域の皆さんにご意見を伺いたいと考えています。

今後は懇談会において皆さんのご意見を踏まえて、野川整備の促進を進めていくとともに、市のまちづくりの実現に向けた取組みを進めていきます。

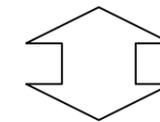
### 【市のまちづくりと野川に関する懇談会の概要】

#### ① 参加者：

1. 野川周辺にお住まいの方々及び国分寺市民

#### ② 開催内容

1. 第1回：まちづくりと野川の整備促進について
2. 第2回：野川周辺のまちの現状と将来のまちづくり
3. 第3回：懇談会意見のとりまとめ、今後の進め方



### 【取組みスケジュール（案）】

#### ○ 27年度のスケジュール

- 7月～28年1月：懇談会の開催
- 28年1月以降：野川の整備促進の取組み  
整備を契機とした市のまちづくりの取組み

## 2. 都市計画河川「野川」について

### (1) 整備の目的・必要性

#### ○治水対策

現況の野川は川幅が狭く、十分な洪水流下能力が確保されていません。また、管理用通路も整備されておらず、護岸の老朽化も進んでいます。

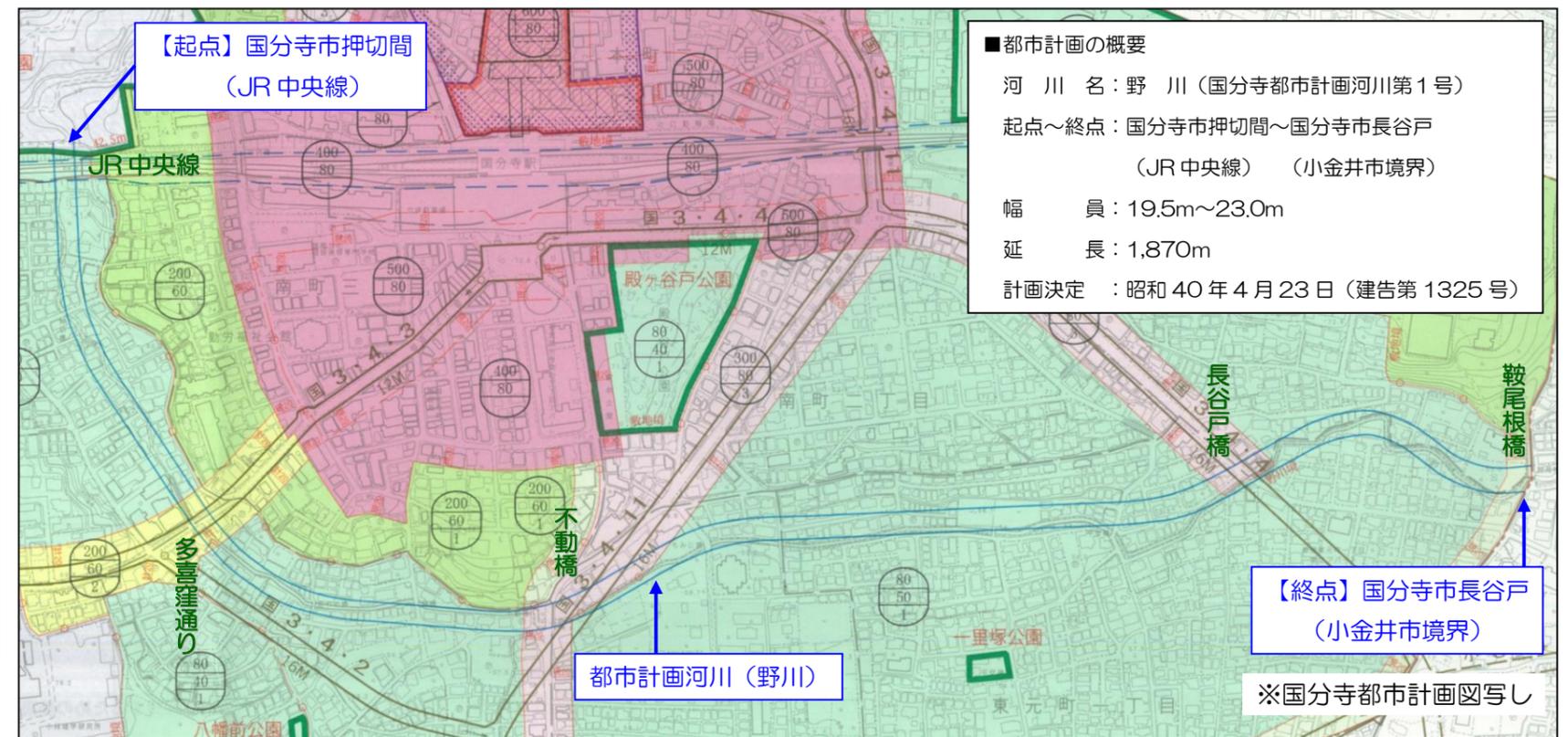
このため、1時間 50 ミリ降雨による洪水を、安全に流せるよう、新たな護岸を整備し、川幅を広げるとともに、洪水時の水防活動を円滑に行えるよう、河川管理用通路を整備します。

#### ○河川環境の向上

現状の野川では河川沿いを歩くことが出来ません。また、河底がコンクリートとなっている箇所があることから、水辺の生き物が生息しづらい環境となっています。このため、人々が水辺に親しみ散策できるように管理用通路に植栽し、緑豊かな空間をつくるとともに、川底を自然河床にするなど、生き物にもやさしい多自然川づくりを行います。

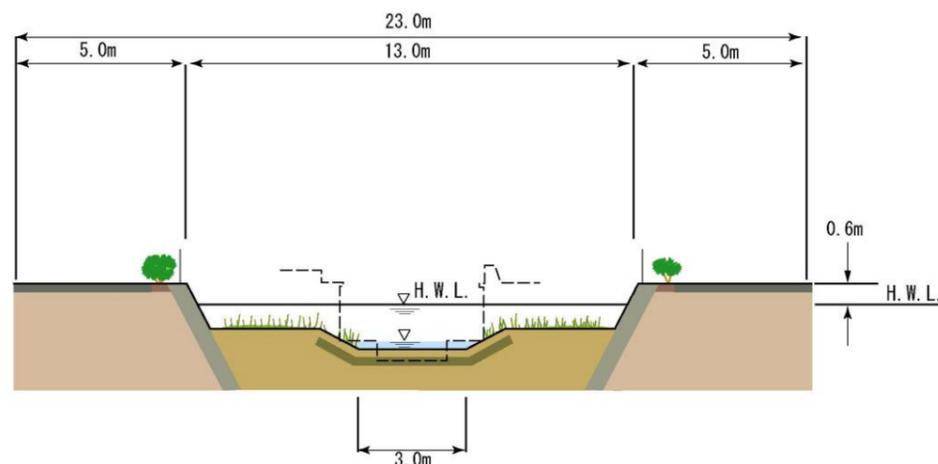
なお、本区間の整備は「多摩川水系野川流域河川整備計画」（平成 21 年 12 月）によって、位置づけられています。

### (2) 「野川」の都市計画の概要



### (3) 整備イメージ（鞍尾根橋～不動橋）

計画標準断面図（鞍尾根橋～不動橋）



河道整備のイメージ図（鞍尾根橋～不動橋間）



※「多摩川水系野川流域河川整備計画」（東京都建設局）より

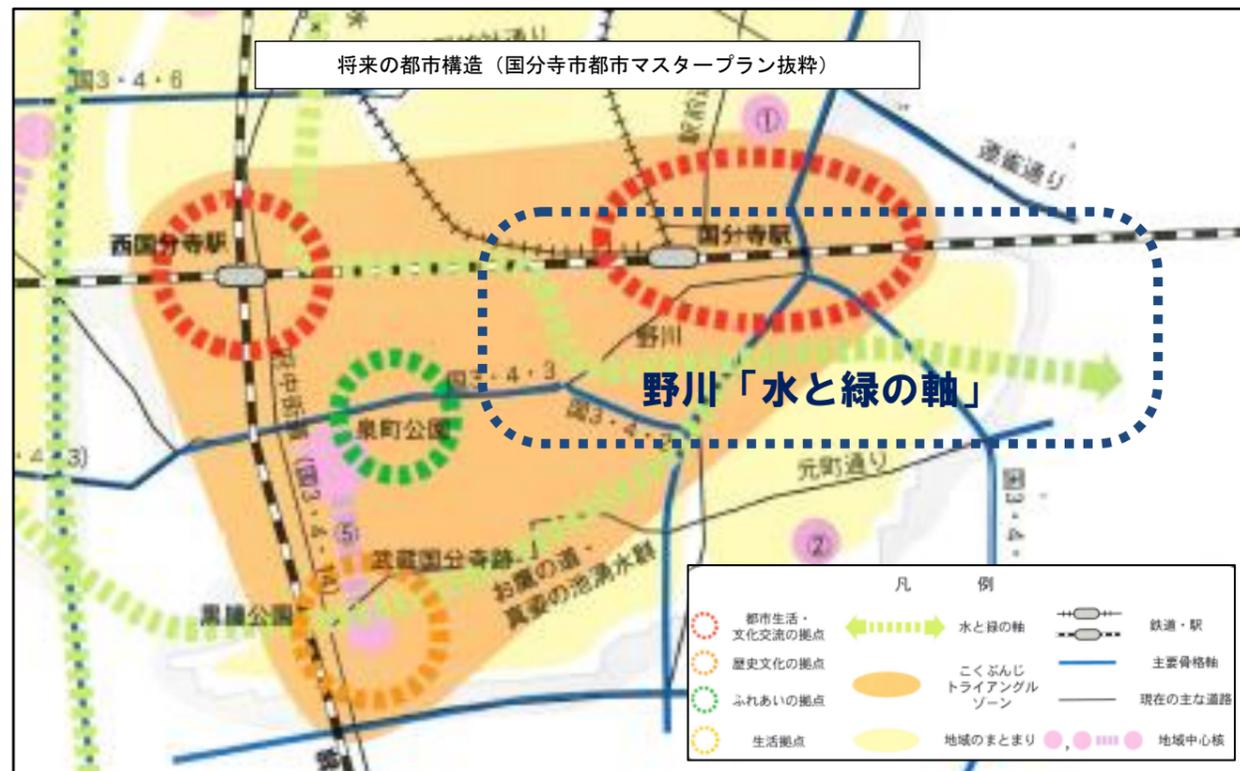
### (4) 河川事業の一般的な流れ

- 事業説明：事業概要の説明
- ↓
- 測量作業：測量に関する説明（現況・用地）
- ↓
- 測量作業：現況測量（計画河川の位置確認）
- ↓
- 測量作業：用地測量（取得させて頂く土地面積の確定）
- ↓
- 用地説明会：補償内容の説明  
 （用地取得の手順、補償内容、生活再建制度等の説明）
- ↓
- 個別折衝：用地取得  
 （土地取得価格、物件補償額の説明、契約協議、用地取得）
- ↓
- 工事説明：工事計画の概要説明
- ↓
- 工事着手・工事完了

### 3. 野川の整備を契機とした市のまちづくり

#### (1) 市の基本計画の位置づけ

国分寺市	国分寺市都市マスタープラン (平成 12 年 3 月)	野川を緑豊かな都市空間をつくりだし、都市生活の安全性を高める「水と緑の軸」と位置づける。崖線沿いの市街地の防災性を高める 河川、水路、池、湧水源を保全・復元、親水化を図る。 川沿いに散策路「こくぶんじ恋のみち」を整備する。
	国分寺市緑の基本計画 2011 (平成 23 年 3 月)	「水の骨格軸」と位置づけ、治水機能の向上や生物多様性の確保、親水空間化に向けた整備を東京都に要望、市として実現に向けた取り組みを進める。 防災性、親水性、生態系に考慮した野川の早期整備化に向けた取り組みを進める。
	第二次国分寺市環境基本計画 (平成 26 年 3 月)	野川整備事業の促進 親水空間の創出や生態系に配慮した環境の整備、防災機能の向上など、東京都と連携を図りながら、野川の整備事業を促進します。

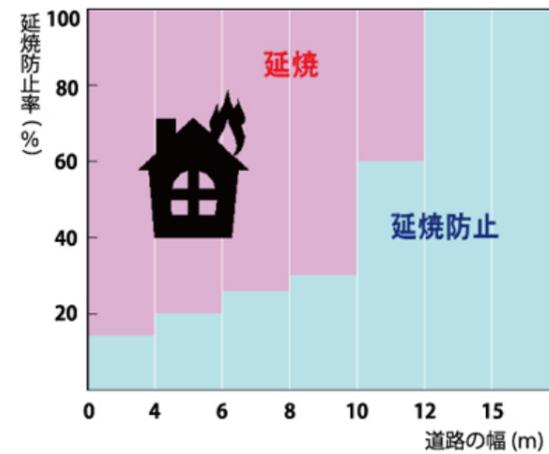


#### (2) 災害に強いまちなみの形成に向けたまちづくり

##### 【震災等により懸念される延焼被害】

国分寺市は立川断層に近く、直下型の震災に見舞われる可能性があります。  
内陸部での大震災である阪神淡路大震災では、火災の延焼により多くの人々がなくなっています。  
特に長田地区は建物が密集する地域で、広範囲に火災が発生しました。

##### ▼幅員別の延焼防止率



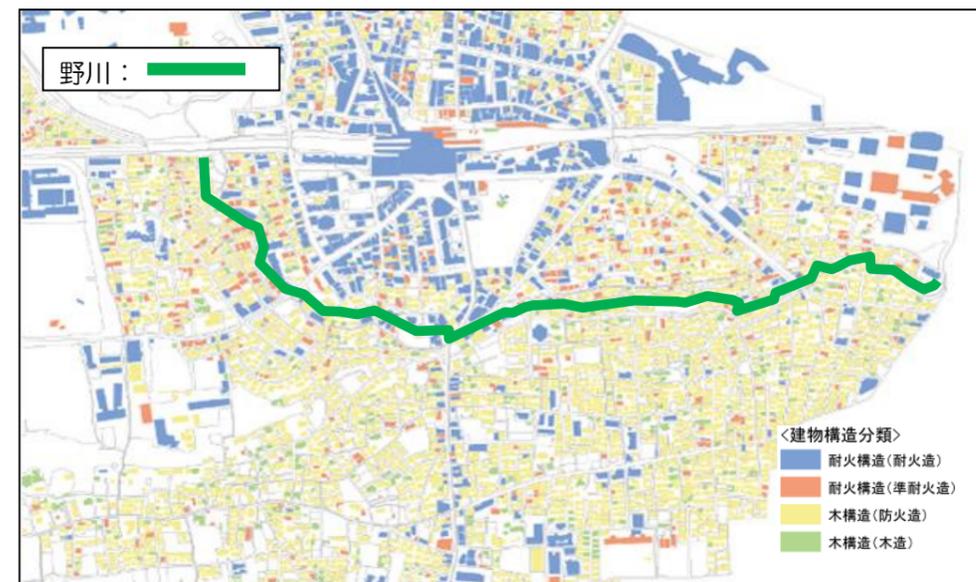
##### ▼阪神淡路大震災時の長田地区の火災状況(H7.1月)



##### 【木構造の建物が多く分布する野川周辺地域】

平成 25 年度に東京都が公表した「地震に関する地域危険度判定調査」では、市内は区部より比較的危険性は低いのですが、野川沿川は木造住宅が多く分布しており、木造住宅は、耐火性が低く火災時の延焼が懸念されます。

##### ▼構造別建物分布



【狭隘道路が多い野川沿川地域】

当該地域は狭隘な道路が多く、緊急時に連続的に動線を確保できる道路や延焼遮断帯となる12m以上の幅員を有する道路などのインフラが未整備となっています。



(3) 緑豊かな空間の形成に向けたまちづくり

【緑が少ない野川沿川地域】

野川沿川は、駅近傍の住宅地域として宅地化が進み緑地・公園等の少ない地域です。

▼緑被現況図 (平成 20 年)



資料：国分寺市緑の基本計画

◎ 多自然川づくりのイメージ

親水性のある護岸

桜並木等の形成

散策路整備



【まちづくりの取り組み例】

⇒野川を地域の自然資源として活かしていく。

- ① 親水性や生物多様性等に考慮した多自然川づくりによる整備を実現する。
  - (ア) 親水性や生態系に配慮した野川整備のあり方を検討する。
  - (イ) 野川の管理用通路や整備後の旧河川敷について、散策路やポケットパークなどを整備し、市の公園・緑地としての活用を検討する。
  - (ウ) 市による施設の維持管理を踏まえた整備のあり方を検討する。

【まちづくりの取り組み例】

⇒野川を地域の防災軸として市の地域防災計画に位置付ける。

- ① 野川整備による防災性の向上を実現する。
  - (ア) 野川を災害時の緊急避難路や消防・救援活動の通路として計画に位置付けるとともに、火災の延焼を遮断する機能を活かしていく。
  - (イ) 野川の管理用通路の整備形態や市による管理のあり方を検討する。

#### (4) 良好な住環境の形成に向けたまちづくり

##### 【潤いのある緑空間の少ない野川周辺地域】

当該地域は宅地化の進行により地域全体の緑空間が減少してきた経過とともに、宅地化の進行が比較的早く進んだ事から公園等のオープンスペースの整備や宅地内の緑化が不足している地域です。

また、比較的狭隘な道路が多いこの地域については、野川の施設整備を活かした良好な交通環境を実現する事で住環境の改善が見込まれます。

#### 住民の生活環境の視点にみる野川とまちづくりの連携により 期待される効果のイメージ

- 野川の整備に併せて周辺地域の宅地内緑化の推進や緑化制度の活用により、野川の整備で生み出される緑空間と連携した住環境の改善が図られます。



- 野川整備に伴い両岸に整備される管理用通路などの施設を活用して、地域にとって必要な生活動線などの機能確保を実現します。



#### (5) 地域の魅力を守り・高めるまちづくり

##### 【野川周辺の歴史及び観光資源】

野川の南西には市を象徴する観光資源、武蔵国分寺跡が位置するとともに、周辺地域には殿ヶ谷戸庭園、お鷹の道湧水群など多くの観光資源が分布しています。

市の主要駅である国分寺駅から観光資源が集まる地域への歩行者動線が未整備です。



#### 市民の皆さんや来訪者の視点（観光・レジャー）にみる 野川とまちづくりの連携により期待される効果のイメージ

- 武蔵国分寺跡など市の歴史を後世に伝える観光資源と野川を軸で結び、来訪者と地域にお住まいの方々が楽しめるまちづくりが期待されます。

- 野川の散策路などを、国分寺駅南口の商店街、国分寺街道の商店街と歩行者動線で連携してまちの活性化に活かします。

##### 【まちづくりの取り組み例】

⇒野川の自然資源や施設整備と連携した良好な生活環境の形成。

- 市のまちづくりのルールや制度を活かした良好な住環境の実現
  - 新たな開発事業に伴う緑化推進や公園整備を進める。
  - 既存の住宅地内の緑化制度の活用と緑化方策の検討を行う。
- 野川の施設を活用した機能確保
  - 野川整備後の袋小路の解消や生活動線の確保など、地域にとって必要な機能確保の実現に向けて、整備される施設の活用を検討する。

##### 【まちづくりの取り組み例】

⇒野川整備を活かしてまちの魅力を守り・高めていく。

- 地域の魅力を高める施設の市及び地域による維持管理
  - 多自然型に整備した野川の地域による維持管理を検討する。
  - 管理用道路、旧河川敷等を活用した緑地等について、地域交流の場としての維持管理のあり方を検討する。
- 市内・市外の方々が多数訪れる空間の創出
  - 野川の歩行者動線を、周辺の観光資源や商業地域と連携した散策ルート等に位置付ける。

※ 資料中の写真、画像、イメージなどについては、国分寺市ホームページや東京都建設局ホームページなどのデータを使用しております。